

豊田地域 医療センター だより

2022
vol. 82



今回の1枚

今年の干支は「寅」



1P・表紙

2P-4P 「地域リハ イノベーションセンター」

- みんなで参加！試して実感！
- サフロ健診
- モビリティ トライアルルーム
- ロボティック スマートルーム

5P 「お知らせ」

- CTを使った大腸精密検査のご案内
- 令和3年度 豊田地域看護専門学校 戴灯式

6P 「新年のご挨拶」

- 理事長ご挨拶
- 院長ご挨拶

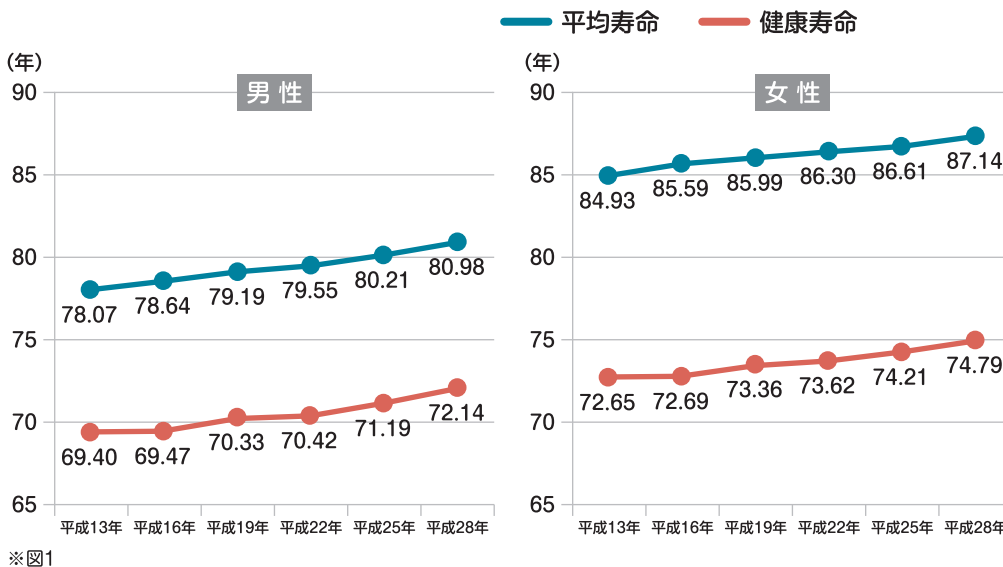
地域リハ イノベーションセンターで 健康寿命の延伸を 目指しましょう!

みんなで参加! 試して実感!
近未来の生活を体験しましょう。

地域リハ イノベーションセンターは、高齢者や介護が必要になった人々が、生き生きと生活できるように、地域リハビリテーションの発展に寄与することを基本理念とし、3つの目標を掲げています。

- 1 医療・介護・福祉機器の技術革新に貢献する
- 2 先進的な移動手段の情報発信を行う
- 3 健康寿命延伸に向けた健診活動を行う

平均寿命と健康寿命の推移



人生100年時代と言われるように、平均寿命は長くなっていますが、介護を要する期間は約10年と残念ながら短縮されていません。(※図1参照)
介護を受ける人も、介護をする人も高齢化が進んでいます。

1 健康寿命の延伸!

サフロ健診を受けて運動・食事を見直しましょう!
コロナフレイルをストップさせましょう!

2 介護を受けながらも幸せを感じられる幸福寿命の延伸

介護が必要になってもIT/ロボット技術で楽しい我が家。
ロボティクススマートルームで近未来介護生活を体験しましょう。
街に出かける楽しみ、買い物や趣味・娯楽・旅行
モビリティライアルームでは様々な移動機器を体験できます。

参加者・体験者の声が力です。
皆さまと一緒に地域リハ
イノベーションセンターをさらに魅力のある
施設へ育てていきましょう

ロボット技術活用
地域リハビリ医学寄附講座

教授 太田 喜久夫



● サフロ健診

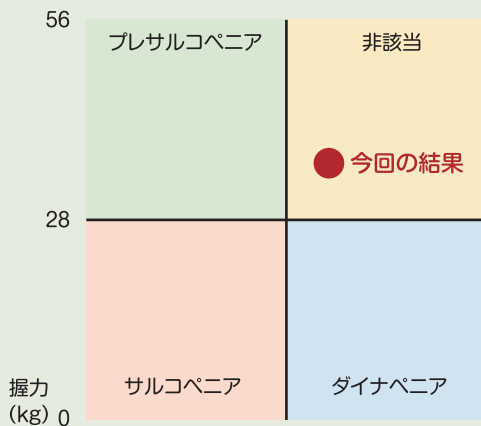
サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドロームの頭文字をとって、当院ではサフロと呼んでいます。

サフロ健診を行うことで、健康寿命の延伸に向けた行動変容の促進やリハビリなどの必要な治療につなげていきます。

検査内容

- ・体成分分析測定
- ・握力測定
- ・6m歩行速度
- ・立ち上がりテスト
- ・2ステップテスト
- ・歩行・姿勢分析
- ・認知機能検査
- ・ロコモ25

結果表示一例



対象者

おおそ50歳以上の方で歩行可能な方
運動能力や心身機能の健康状態確認を希望される方
(歩行困難な方は、リハビリテーション科で
オステオサルペニア検査の受診をお勧めいたします)

費用

4,950円(税込)

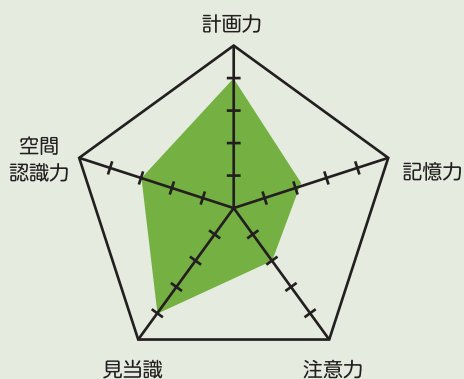
実施日時(開始時間 要予約)

月	火	水	木	金
8:30 10:00	8:30 10:00		8:30 10:00	

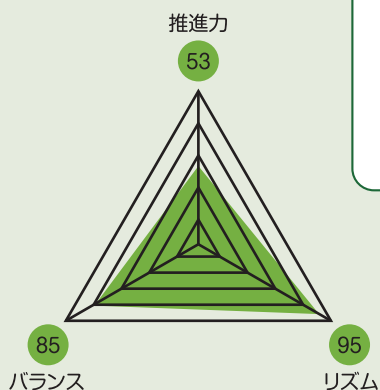
予約先

健診センター ☎0565-34-3002

認知機能検査



歩行分析



リハビリ専門医の結果説明を含め、90分ほど実施します



● モビリティトライアルルーム

Mobility Trial Room (MTR)

開館／祝日を除く月～金／9:30～12:30

身体能力が低下した場合でも、移動を便利にし、生活範囲を広げられる先進のモビリティの体験が行えます。現在、6台の移動機器を展示しています。今回、そのうちの3台をご紹介します。

最小回転半径1m、最大12cmの段差を乗り越えられる電動カートです。その場で回転もできます。



業務効率アップやシニアの活躍を目指して、施設内での歩行業務を支援する立ち乗り型の電動小型モビリティです。視線を高くできることがメリットです。



フットレストとアームレストが同時に安全な移乗を提供します。横移動やその場回転もできます。

● ロボティックスマートルーム

Robotic Smart Room (RSR)



開館／祝日を除く月～金／9:30～12:30

自宅を模したスペースで高齢者や生活に不自由を感じている方々に、先進技術を取り入れた機器のご紹介と体験が行えるルームです。現在、15の機器が展示されています。予約していただくとリハスタッフとともに体験しながらアドバイスを受けられます。



ウェアラブル端末を使用し、トレーニング、レクリエーション、測定機能を搭載した誰でも使える機能訓練支援サービスです。



転倒による骨折を予防するロボットです。ゆっくりと転倒することで転倒要因の解析に利用できます。



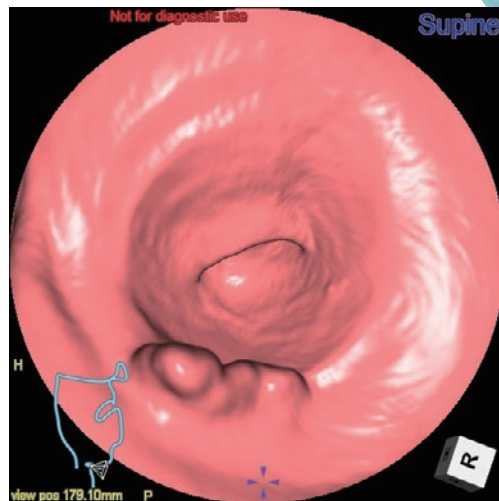
転倒時の衝撃を吸収して骨折を予防するとともに歩行時の安定性を両立した床材です。



頭頸部の角度を0°～50°の範囲で調整できる「電動ヘッド機能」を搭載し、誤嚥性肺炎のリスクを低減できます。

CTを使った大腸精密検査のご案内

現在大腸がんは日本人が最もなり易い『がん』となりました。
また人口比における死亡者数が増加傾向にある一方で、
大腸がん検診(便潜血検査)で要精査の指摘を受けても、
大腸カメラの苦痛により二の足を踏む方もみえると思います。
その様な場合当院では、CTを利用した
大腸CT検査をご提案しています。
この検査は、腸の中に空気を入れてCT撮影を行う検査で、
当院のアンケートでも93%の方が大腸内視鏡検査よりも
楽な検査だったと回答されています。



興味のある方は

金曜日／午前／外科外来(清水朋宏)にて、
検査の説明やご案内をさせて頂いています。
病院代表 0565-34-3000へ診察予約をお願いします。

令和3年度 豊田地域看護専門学校 戴灯式

11月10日(水)、医師会館にて、令和3年度の戴灯式が行われ、
この春入学した19回生40名が、看護師となる誓いを新たにしました。
ナイチンゲール像の灯火から、看護の灯をそれぞれのキャンドルに
受け継いだ戴灯生は、厳かな雰囲気の中「慈しみの心を忘れず、
看護の道を歩んでいきます」と、力強く、
思いを込めて誓いの言葉を述べました。
戴灯生は、12月に初めての臨地実習を経験し、
より一層学びを深めていきます。

ふれあいまつりで健康よろず相談

総合診療科の医師と看護師が稲武地区と
梅坪台地区のふれあいまつりで、
豊田市の保健師、包括支援センターと
共同で健康よろず相談を行いました。
ブースにお越しいただいた方からは、
「気軽に話せて良かった」、
「薬の飲み方を聞いて良かった」など、
多くの嬉しい感想をいただきました。
これからも医師や看護師が病院から地域に出て、
市民の健康づくりに役立てるよう
活動を続けていきます。



10月17日 稲武地区ふれあいまつり



11月20日～28日
梅坪台ふれあいまつり

新年のご挨拶



理事長

宮川 秀一

が期待されています。これらを包含する新病院のコンセプトは“コミュニティ・ホスピタル”であります。すなわち病棟・外来・在宅をシームレスにつなぎ、「地域」との関わりを大切に、市民の皆さまに開かれた病院、気軽にご利用頂ける病院です。

豊田市ならびに豊田加茂医師会や医療諸機関と一層の連携を深め、職員一同“one team”で、法人諸機能の更なる充実のために尽力する所存でございます。

皆さまのなご一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

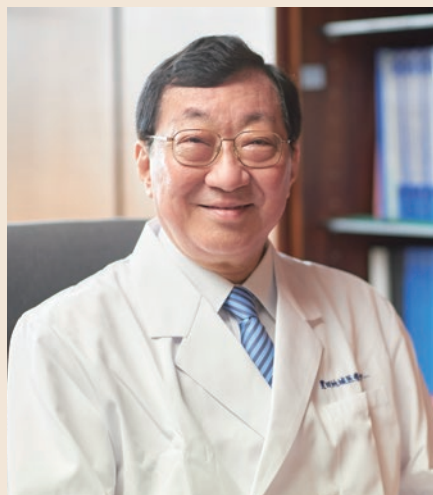
新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

ワクチン接種が進みコロナ患者の発生も減って来ましたが、新型株オミクロンの動向が心配されます。このまま沈静化して欲しいものです。

豊田地域医療センターは、設立40周年事業の一環として建設された新病棟に移転して一年が経ちました。そして、旧南・西棟を改築して新たな健診部門が昨年春に、コミュニティプラザが秋に完成しました。新しい健診部門は最新の機器も導入され、広くゆとりある構造になっております。

コミュニティプラザは、1階が地域リハ イノベーションセンター、在宅医療支援センターなど、2階が訪問看護師や総合療法士などの地域医療人材育成センター、院内託児所などで構成されております。地域リハ イノベーションセンターは、サフロ健診コーナー、ロボティクススマートルーム、モビリティライアルームが設置されており、トヨタ自動車様や関連諸企業のご協力を得て、リハロボット並びにC+walkなど最新のモビリティが導入されており、これらの機器を気軽にお試しいただくことができます。いつでも快適な生活や移動ができるようにサポートすることがこの部署の役割です。

新しい豊田地域医療センターには、“救急医療や入院患者への対応に必要な診療の確立”、“医療を担う者にとって魅力があること”、さらに“高齢者や在宅医療の充実と発展”



院長

堀口 高彦

新年明けましておめでとうございます。昨年の6月に井野先生の後任として院長職を拝命してから、早や7ヶ月が過ぎました。その間、院内の移転・引っ越しなど多忙を極めましたが、スタッフ皆様のご協力のおかげでスムーズに進み、新しい施設で更なる医療の充実が可能となりました。患者さまへの優しさ、思いやりに関しては、どこの病院にも負けない自負があります。ソフト面だけではなく、新施設となりハード面も充実した豊田地域医療センターに期待して下さい。

想定外の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍に見舞われ、不自由な生活を強いられている方も多くと存じます。一刻も早い終息が望まれますが、当センターは藤田医科大学とも連携しており、いち早く最先端医療を訪問診療にも導入しています。ご心配な症状がありました折には、ご相談ください。

当センターには設立以来、救急医療・健診検査・看護師養成の3本の柱があります。更に総合診療・地域リハビリ・アレルギー診療を提供し、豊田市民の健康づくり・まちづくり・人づくりを行動指針としてコミュニティ・ホスピタルを新たなコンセプトとして定めました。また人材育成として、訪問看護師育成センター・総合療法士育成センターなどの展開にも力を入れ、優秀な人材を輩出しています。

豊田地域医療センターは豊田市・豊田加茂医師会・藤田医科大学・トヨタ自動車から連携協定などを通じて援助をいただいております。その責務を果たすべく、益々発展を遂げる豊田市、および市民の皆様方のためにスタッフ一丸となって全力を注ぎますので、本年も宜しく願い申し上げます。

編集・発行

豊田地域医療センター

〒471-0062 愛知県豊田市西山町3-30-1

TEL 0565-34-3000(代)

FAX 0565-35-2841

<https://www.toyotachiiki-mc.or.jp/>



病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、地域のみなさまの生命を守り、健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

